

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	198.1	地方バス路線維持経費	01	01	一般会計
基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			21	21	諸費
担当部課名	企画振興部企画調整課		101	101	地方バス路線維持経費
作成者氏名	山下 章光	連絡先	内線2115	01	地方バス路線維持経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	不採算のため乗合事業者が撤退した路線について、21条路線として運行を継続	児童及び生徒の通学、老人など交通弱者の移動手段を確保する。
本年度事業内容	友生線、予野線、島ヶ原線、諏訪線、月ヶ瀬線、西山線、柘植本線の7路線	
開始年度	平成 3 年度	終了年度 平成 年度
	根拠法令・要綱等	道路運送法第21条

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.18	0.175	0.175
人件費合計(A)	1,296	1,260	1,260
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	48,061	58,600	55,700
委託料	42,375	55,700	55,700
補助金	5,686	2,900	
その他			
合計(A+B)	49,357	59,860	56,960
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	16,196	14,050	12,500
地方債			
受益者負担	3,049		
その他特財	26,900	27,250	
一般財源	3,212	18,560	44,460
上記①～③に関する特記事項 H18年度は、目 06企画費 細目 105バス等対策事業経費 細々目 02地方バス路線維持経費 で予算化			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
収支率	%	53.6	54	55			
輸送人員	千人	223	223	223			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
経常収入／経常経費	利用促進と運行効率化が反映される数値	%	53.6 目標 ( )	54	55
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

乗合事業者の経営悪化により、4条路線からの撤退が続き、高速線を除き、運行路線数も21条路線が4条路線を上回る状況である。不採算路線を従前のまま21条や80条で運行しつづけることは厳しい状況にあり、マストランジットとしての側面と、教育、福祉としての整理を要する。

評価	必要性	4	利用状況や採算を踏まえた路線再編。児童・生徒との混乗などによる効率化が急務であるが、交通計画を実行に移すには、さらに細部の検討も必要である。 <th>総合評価</th>	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	2		